

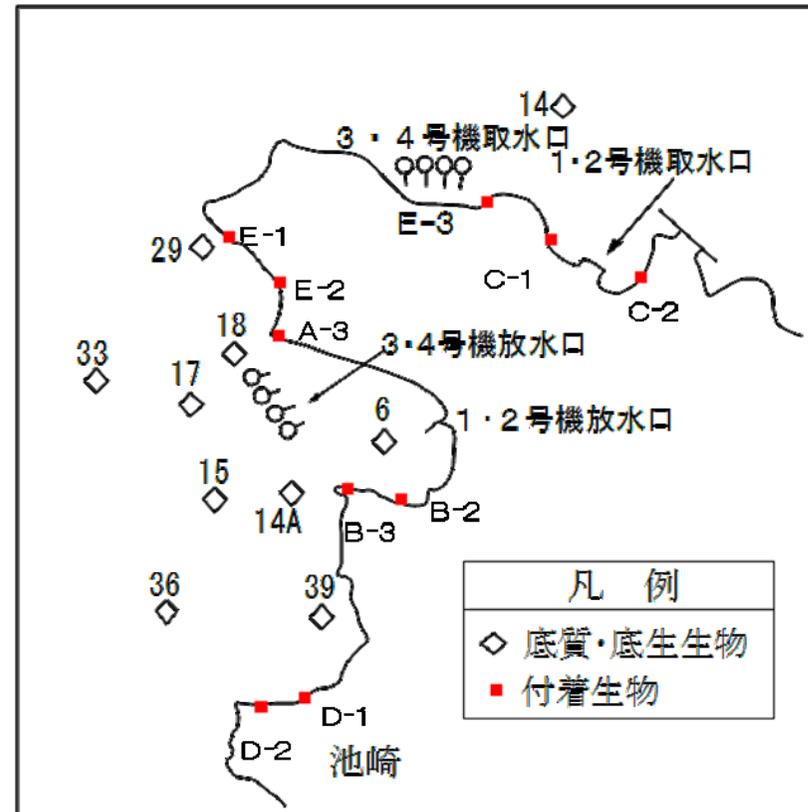
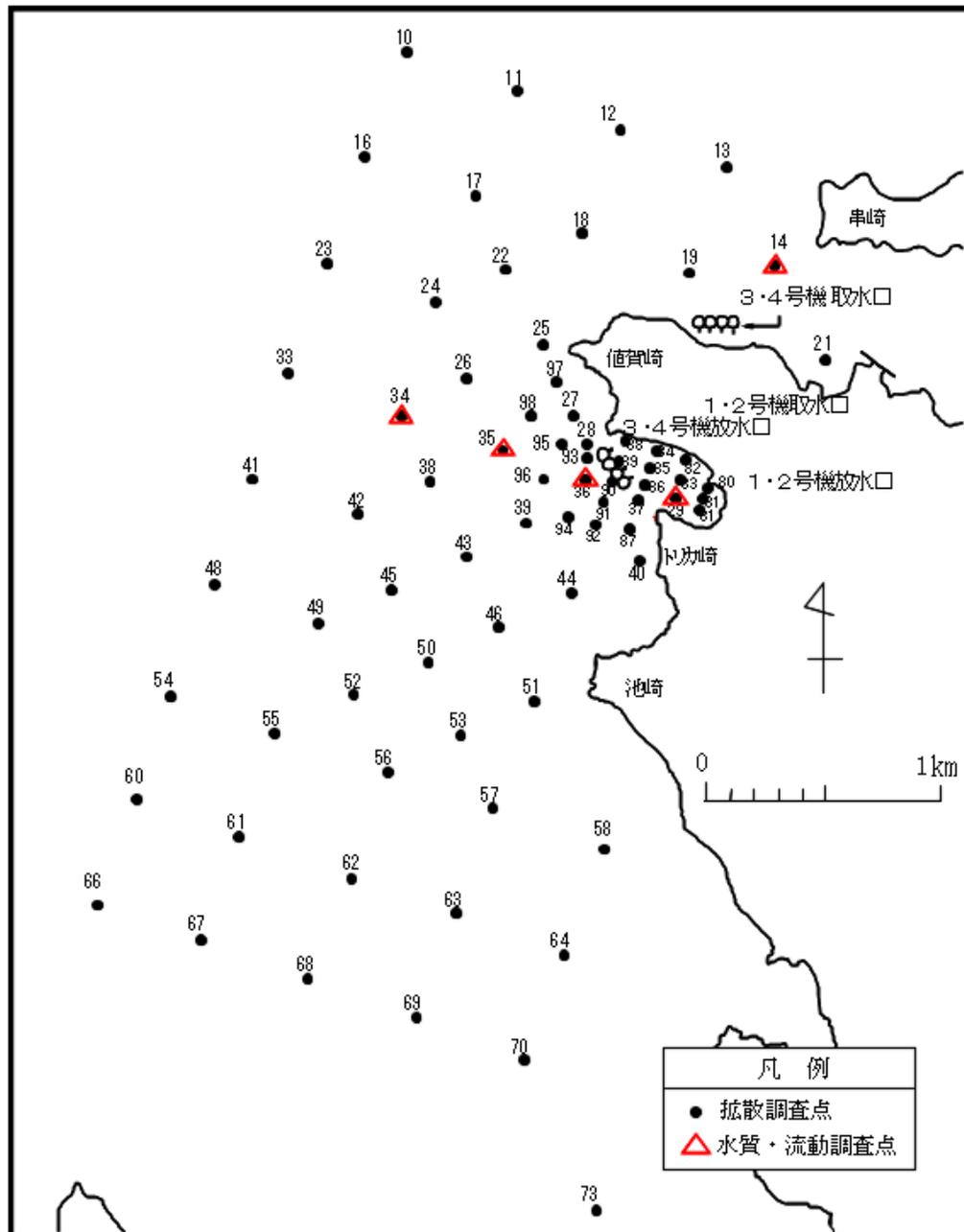
# 平成27年度温排水影響調査(夏季)結果

平成28年1月14日  
玄海水産振興センター

## 平成27年度調査実施状況

項目	調査月日	内容	調査 点数	観測層	調査方法および使用機器
拡散調査	7月 28日	水温 塩分	74	水温：0.3(表層), 1, 2, 3, 4, 5, 7, 10m 塩分：0.3(表層)m	<ul style="list-style-type: none"> <li>水温、塩分：電気水温塩分計による現場測定 (JFEアドバンテック社 ACT20-D型)</li> </ul>
流動調査	7月 21日	流向 流速	5	0.3(表層), 5, 10, B-1(底層)m	<ul style="list-style-type: none"> <li>流向・流速計による現場測定 (JFEアドバンテック社 AEM213-D型)</li> </ul>
水質調査	7月 23日	水温 pH DO 濁度 クロロフィル-a	5	0.3(表層), 5, 10, B-1(底層)m	<ul style="list-style-type: none"> <li>水温、DO、濁度：多項目水質計による現場測定 (JFEアドバンテック社 ASTD-102)</li> <li>pH：卓上測定器による測定 (TOA-DKK社 卓上pH計)</li> <li>クロロフィル-a：蛍光法</li> </ul>
底質・底生 生物調査	7月 23日	粒度組成 COD ベントス	10	海底土	<ul style="list-style-type: none"> <li>粒度組成：ふるい分け法</li> <li>COD：アルカリ性法</li> <li>ベントス：マクロベントスについて定量・同定</li> </ul>
付着生物 調査	8月 28日 29日	動物 植物	10	潮間帯	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベルトトランセクト法 岸側各点から海方向にメジャーを伸ばし、1.5 m毎に50 cm枠の中の種類、数量(被度)を調査</li> </ul>

# 調査定点図



# 拡散調査・水質調査風景

拡散調査



水質調査

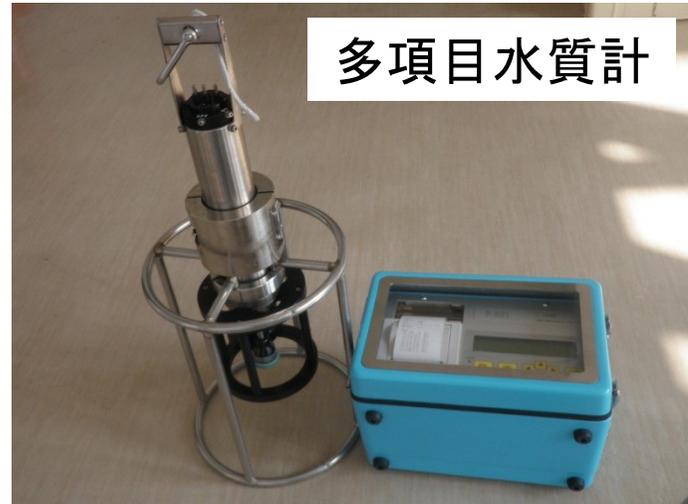


## 調査機材

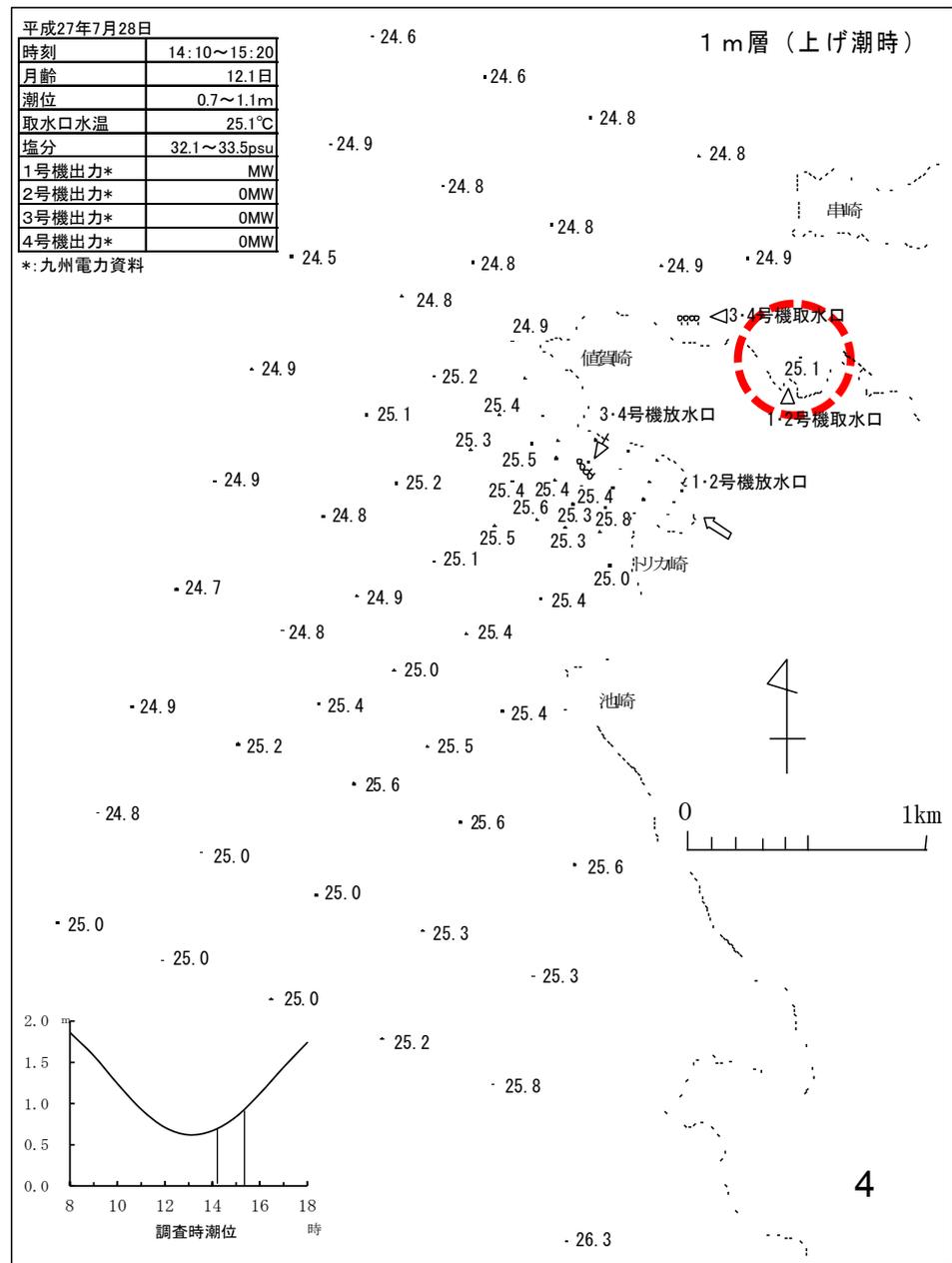
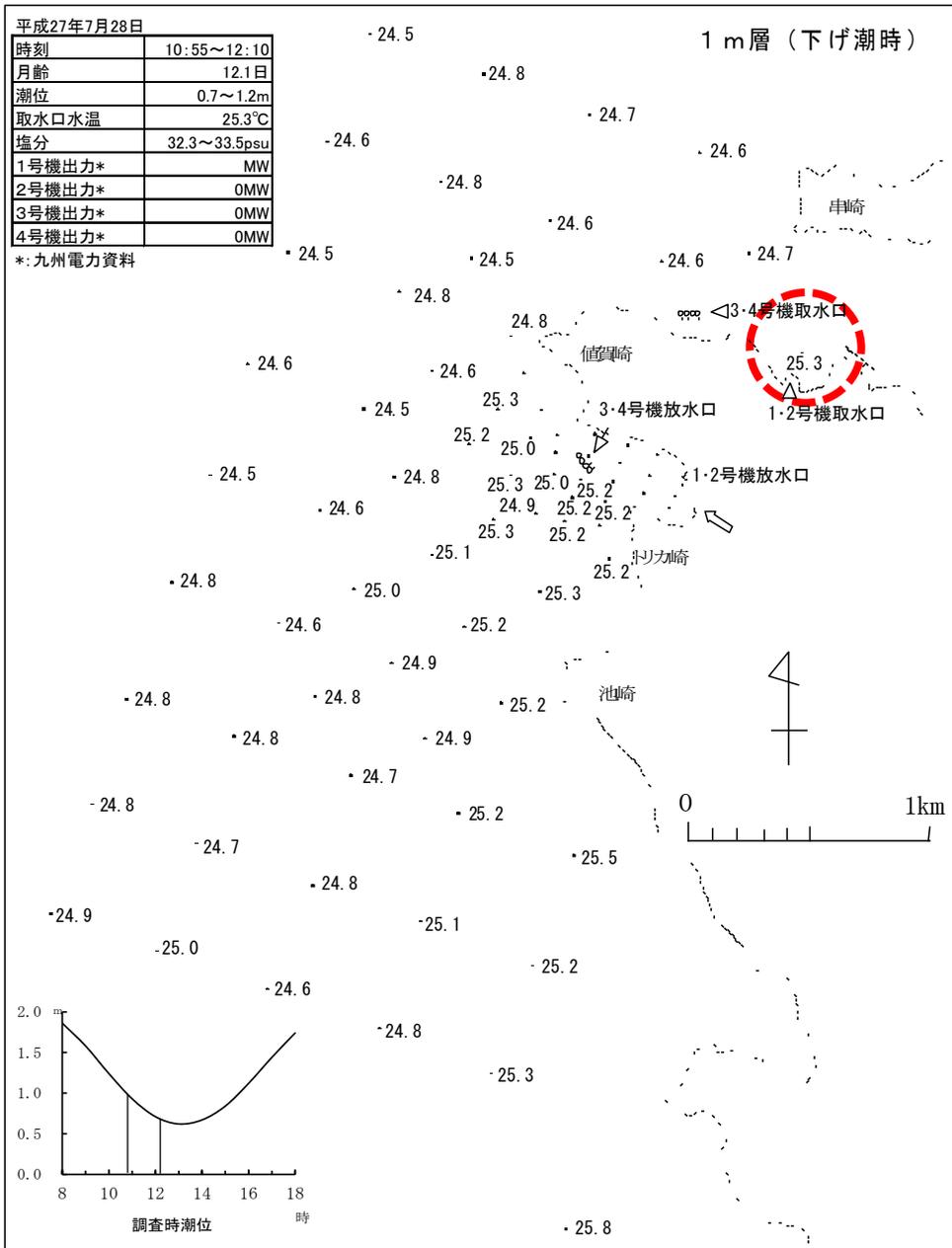
水温塩分計



多項目水質計



# 夏季拡散調査結果



# 水質調査項目の説明

水温: 海水の温度

pH : 水素イオン濃度指数。

7が中性であり、大きいとアルカリ性、小さいと酸性。

DO: 溶存酸素。

海水中に溶けている酸素の量。

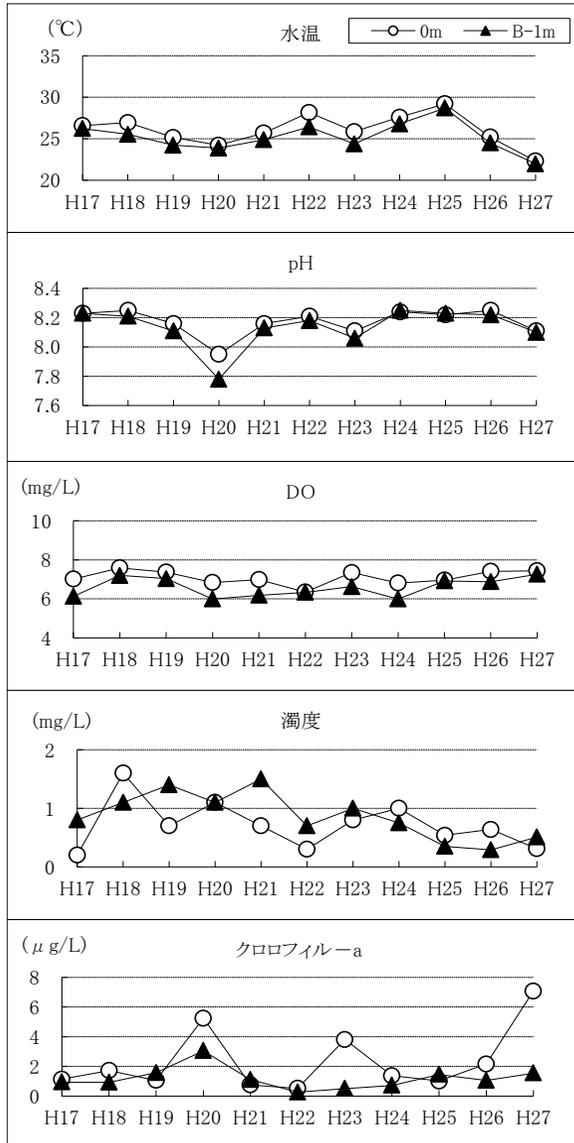
濁度: 海水中の濁りの度合い。

クロロフィルa量: 植物プランクトンの光合成色素の量。

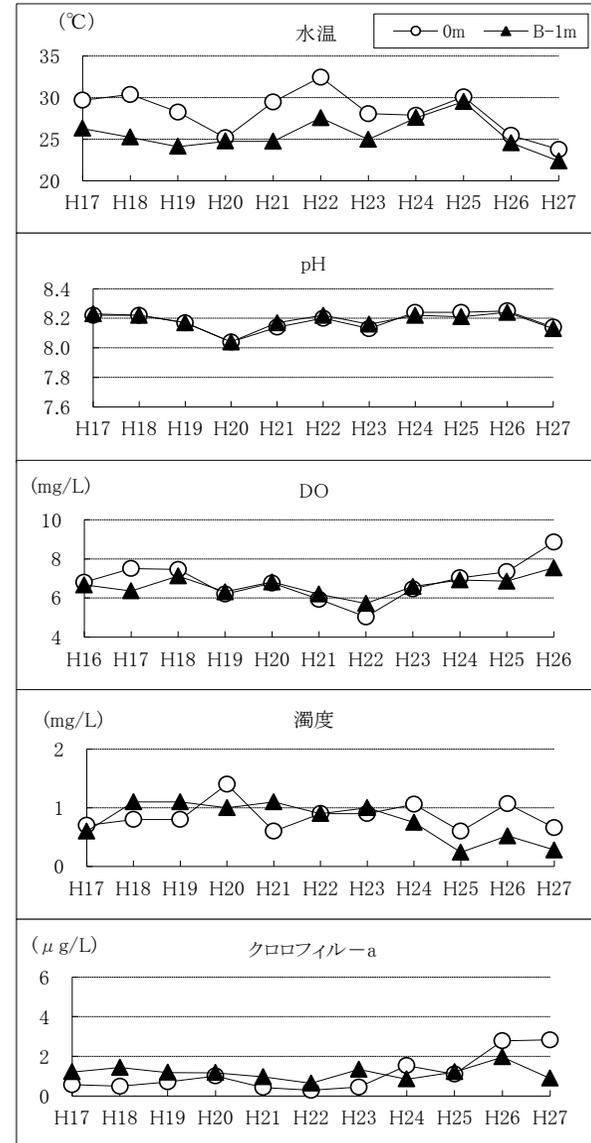
海のプランクトンの生物量や生産量の指標として扱われている。

# 夏季水質調査結果の推移

## 取水口側

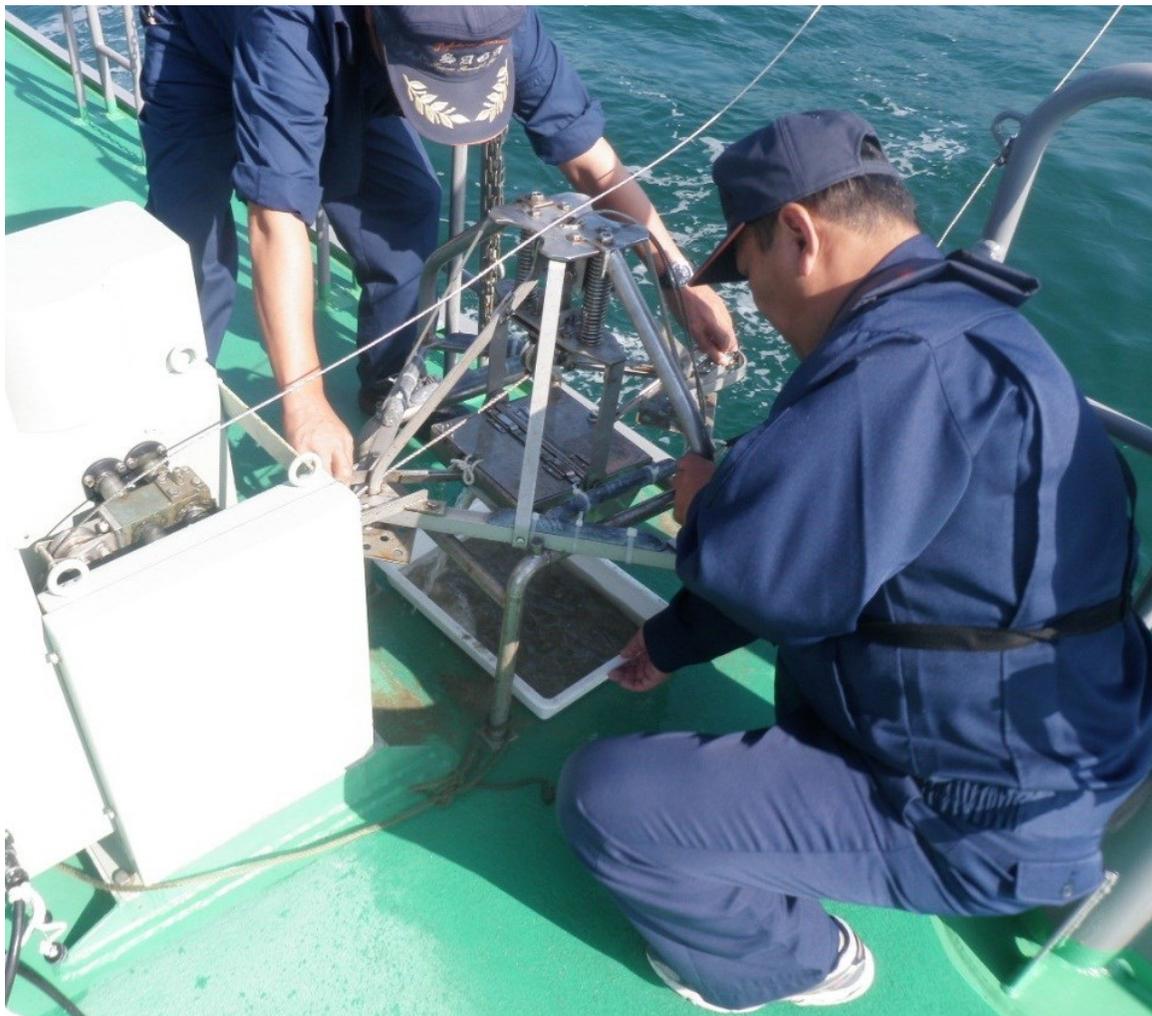


## 放水口側



# 底質・底生生物調査

## 採泥器



1mm

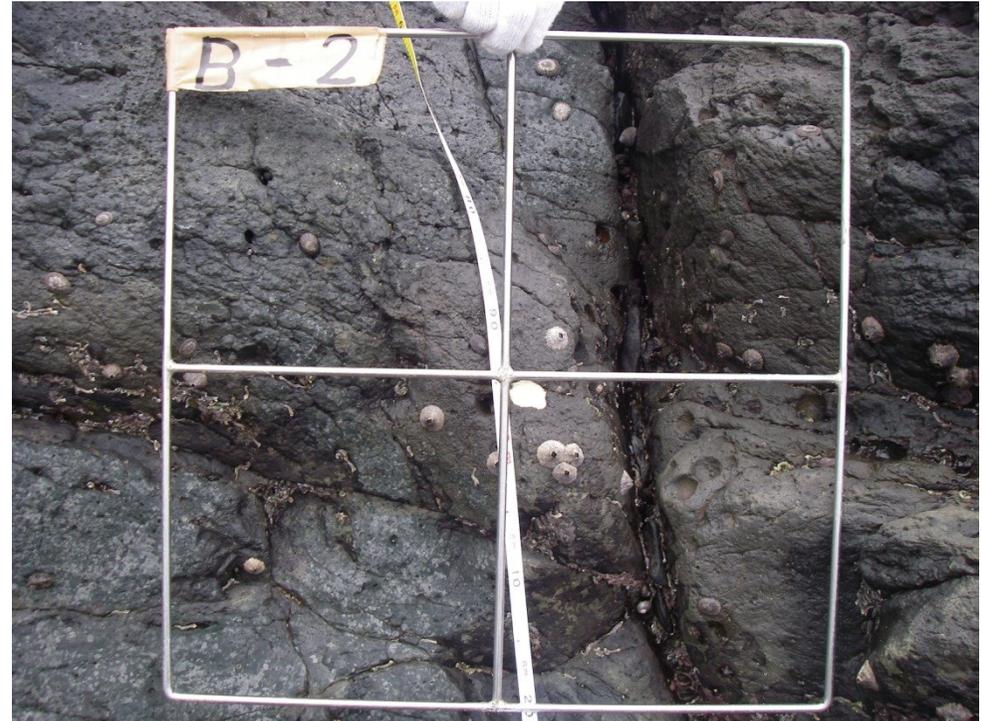
ベントス: 海底の砂や泥に生息する生物のこと

# 付着生物調査

## 調査ライン



## 調査点



## 出現生物例(動物)



# 出現生物例(植物)

サンゴモ亜科



サビ亜科



# 平成27年度(夏季)温排水影響調査結果

拡散調査では、放水口周辺での水温の上昇はみられませんでした。

その他の各調査結果については、過去の変動の範囲内でした。